

# REPORT

## 市町村合併研究会 — 調査研究報告 —

### ここがPOINT!

- ①市町村合併は、新たな課題に対応できる選択肢となりうるか？
- ②市町村も、自治体運営の最適な都市規模、行財政運営について議論すべき！
- ③「平成の合併」の特例支援策を受けるためには、「平成17年3月31日までに合併しなければならない」という期限がある。

はじめに  
比べてみよう！  
こんなにも  
関わっている。

まず、留萌市、増毛町、小平町（以後「3市町」）の歴史人口、結びつきについて見てみましょう。

### ▼3市町の歴史

明治19年に北海道庁が設置されてから、道内各地域で鉄道、道路などの社会基盤整備が急速に進み、定住人口も増加しました。

3市町も、先人によって開拓が進められ、「二・二級町村制」による統廃合、戦後の地方自治法施行を経て、現在の姿となっております。

### ▼人口の推移

3市町で、人口が最も多くなった年は、留萌市では昭和40年、増毛町は昭和30年、小平町は昭和25年。しかし、その後は3市町とも人口の減少が続いています。【表1】

各市町の人口のピーク時と平成12年との比較では、留萌市が約3割、増毛町と小平町では約6〜7割が減少しています。

### 市町村合併と留萌の未来

市長と  
語りろ！

まちづくり  
懇談会

市町村合併をテーマに、これからの留萌のことを、市長と語りませんか？

最寄の会場またはご都合のよい日をお選びください。たくさんのご参加をお待ちしています。

- 12月10日（火）午後7：00 幌糠地区公民館
- 12月11日（水）午後7：00 東部地区公民館
- 12月12日（木）午後7：00 は一とふる
- 12月16日（月）午後7：00 中央公民館
- 12月17日（火）午後7：00 商工会議所
- 12月18日（水）午後7：00 留萌市役所

※お問合せ：市役所調整課 ☎42-1801 内線298 / 292

【表1】3市町の人口の推移

(単位：人)

	昭和20年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年
留萌市	30,057	32,513	35,797	35,818	40,231	38,691	36,882
増毛町	13,997	16,552	16,768	14,657	13,063	10,962	9,312
小平町	14,207	17,046	14,950	14,711	12,292	8,471	7,272
合計	58,261	66,111	67,515	65,186	65,586	58,124	53,466

  

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	H12とピーク時の比較	
留萌市	36,626	35,542	32,429	30,060	28,325	△11,906	△29.6%
増毛町	8,319	8,011	7,166	6,652	6,167	△10,601	△63.2%
小平町	6,474	6,012	5,334	4,855	4,566	△12,480	△73.2%
合計	51,419	49,565	44,929	41,567	39,058		

(資料) 国勢調査

【表2】3市町の就業者・通学者の状況

区分		就業地及び通学地						
		留萌市		増毛町		小平町		
留萌市	就業	15,284人	14,529人	95.1%	297人	1.9%	180人	1.2%
	通学	1,313人	1,255人	95.6%	50人	3.8%	-人	-%
増毛町	就業	3,423人	593人	17.3%	2,714人	79.3%	-人	-%
	通学	253人	91人	36.0%	159人	62.8%	-人	-%
小平町	就業	2,589人	353人	13.6%	10人	0.4%	2,153人	83.2%
	通学	197人	129人	65.5%	2人	1.0%	54人	27.4%

(資料) 平成12年国勢調査/※通学者は15歳以上

【表3】3市町の購買動向状況

	人口	第1位		第2位			
留萌市	32,216人	留萌市	26,768人	83.0%	旭川市	1,849人	5.8%
増毛町	7,310人	留萌市	3,797人	52.0%	増毛町	2,464人	33.7%
小平町	5,270人	留萌市	3,758人	71.2%	小平町	914人	17.4%

(資料) 「北海道広域商圏動向調査報告書」(平成4年3月)

【表4】3市町の入院・通院者の状況

(単位：人)

区分		当該市町の入院・通院者数		他市町村への入院・通院者数						
		人数	割合	留萌市		札幌市		旭川市		
留萌市	入院	368	197	53.5%	-	-%	70	19.0%	29	7.9%
	通院	4,464	3,839	86.0%	-	-%	214	4.8%	270	6.0%
増毛町	入院	151	19	12.6%	65	43.0%	28	18.5%	14	9.3%
	通院	1,867	669	35.8%	868	46.5%	-	-%	154	8.2%
小平町	入院	94	30	31.9%	35	37.2%	13	13.8%	13	13.8%
	通院	1,245	327	26.3%	729	58.6%	-	-%	70	5.6%

(資料) 「地域医療保険総合システム構築に関する研究-資料編」(平成8月3月)

### ▼日常生活の結びつき

わたしたちの日常生活の活動範囲は、年々市町村の枠を越えて広がってきています。3市町では、通勤・通学、買物、医療機関の利用などを中心に生活上の結びつきが強まるといわれています。

### ①通勤・通学圏【表2】

就業地先の第1位は、3市町とも自分のまちで、留萌市は95.1%、増毛町は79.3%、小平町は83.2%と、いずれも約8割を越えています。留萌市への通勤は、増毛町から17.3%、小平町から13.6%、

### ②商圏【表3】

6%で、留萌市への通学は、増毛町から36.0%、小平町から65.5%となっております。3市町で留萌中小商圏が形成され、増毛町から52.0%、小平町から71.2%が、留萌

### ③医療圏【表4】

市内で衣料品、電化製品などを購入しています。留萌市内の医療機関の利用は、外来通院者の場合、留萌市から86.0%、増毛町から46.5%、小平町から58.6%

%となっております。入院者の場合は、留萌市から53.5%、増毛町から43.0%、小平町から37.2%となっております。

通院者より利用割合は低下し、札幌市や旭川市内の医療機関の利用率が高くなっています。